

がん対策白書 2011
～アドボカシーに使える情報集～

日本医療政策機構 市民医療協議会
がん政策情報センター 編

がん対策白書～アドボカシーに使える情報集～
—目次—

序章

はじめに 構成と使い方3

第1章 患者視点で考えるがん対策 5

1. 高まるがん政策への提言 ～「がんアドボカシー・アンケート」より～6
2. 患者の求めるがん対策 ～「がん患者意識調査 2010 年度」より～16

第2章 都道府県別がん対策カルテ 27

・ 都道府県別がん対策カルテの使い方28

1. 北海道36
2. 青森県38
3. 岩手県40
4. 宮城県42
5. 秋田県44
6. 山形県46
7. 福島県48
8. 茨城県50
9. 栃木県52
10. 群馬県54
11. 埼玉県56
12. 千葉県58
13. 東京都60
14. 神奈川県62
15. 新潟県64
16. 富山県66
17. 石川県68
18. 福井県70
19. 山梨県72
20. 長野県74
21. 岐阜県76
22. 静岡県78
23. 愛知県80
24. 三重県82
25. 滋賀県84

26. 京都府	86
27. 大阪府	88
28. 兵庫県	90
29. 奈良県	92
30. 和歌山県	94
31. 鳥取県	96
32. 島根県	98
33. 岡山県	100
34. 広島県	102
35. 山口県	104
36. 徳島県	106
37. 香川県	108
38. 愛媛県	110
39. 高知県	112
40. 福岡県	114
41. 佐賀県	116
42. 長崎県	118
43. 熊本県	120
44. 大分県	122
45. 宮崎県	124
46. 鹿児島県	126
47. 沖縄県	128

資料編 **130**

1. 「がんアドボカシー・アンケート」単純集計表	131
2. 「がん患者意識調査 2009 年度、2010 年度」単純集計表	145
3. 「がん患者意識調査 2009 年度、2010 年度」自由記載コメント集	169
4. 「がん格差データ」グラフ集	225
5. 参考資料	250

～はじめに～

がん対策白書～アドボカシーに使える情報集～（以下、本書）は、がん患者・家族の声から都道府県ごとのがん死亡率やがん対策に取り組む体制についてのデータまで、がん対策に関連するさまざまな情報を集約したものです。都道府県のがん対策について考える際に参考にしていただける「情報集」になることを目指しています。

本書を手にとった皆さまにご活用いただき、がん患者アドボカシーをはじめとするさまざまな活動が活発化して成果を生み、すべての患者さんが納得してより良い医療を受けられる社会が実現することが、最終的なゴールです。

●構成と使い方

本書は、「患者視点で考えるがん対策」「都道府県別がん対策カルテ」の2章から構成されています。

第1章「患者視点で考えるがん対策」では、はじめに、がん対策に関わるさまざまな立場の方を対象とした「がんアドボカシー・アンケート」の結果をまとめ、がん領域におけるアドボカシー、中でも特に患者アドボカシーの重要性についてレポートしています。次に、がん患者さんやご家族を対象とした「がん患者意識調査」の結果から浮き彫りになった、がん対策における問題点や課題をまとめています。がん領域における患者アドボカシーの現状や、患者視点から見た問題点や課題について知りたい時にご参照いただければ幸いです。

第2章、「都道府県別がん対策カルテ」では、47都道府県ごとに、がん死亡率や検診受診率、がんの医療資源、都道府県におけるがん対策の体制などの情報をまとめています。それぞれのデータには、参考として、47都道府県中の何番目に位置しているのかが一目で分かるように記載しています。資料編に収載している「がん格差データ」で47都道府県の全体像をつかみ、それぞれの地域の特徴を比較したり参考にして、さらに強化すべきポイント等を検討する際の材料にいただければ幸いです。

本書を手にとっていただいた皆さまの、日頃のアドボカシー活動の一助となれば幸いです。

本書はあくまで一般的な情報提供を目的としたものであり、いかなる内容であれ、具体的・個別的な提言活動やその他の行動を勧誘するものではありません。

アドボカシー活動については、日本医療政策機構 市民医療協議会 がん政策情報センター編「アドボカシーワークブック～患者さんが作る 提言活動の手引き～」もぜひご覧ください。

【MEMO】